

主体的な学びにつながる「算数・数学の学習が好きになる授業」をめざして

県HPの「ぎふっこ学び応援サイト」にある「子供の目線に立つ2022」も参考になります。→



児童生徒が、**数学的に「～しようとする姿」**を褒めましょう。



考えが途中で、答えが違っていても、**数学的な見方・考え方を働かせて「何とか解決しよう」としている児童生徒の姿**を見取り、積極的に「何がよいのか」を褒め、次への意欲につなぎましょう。



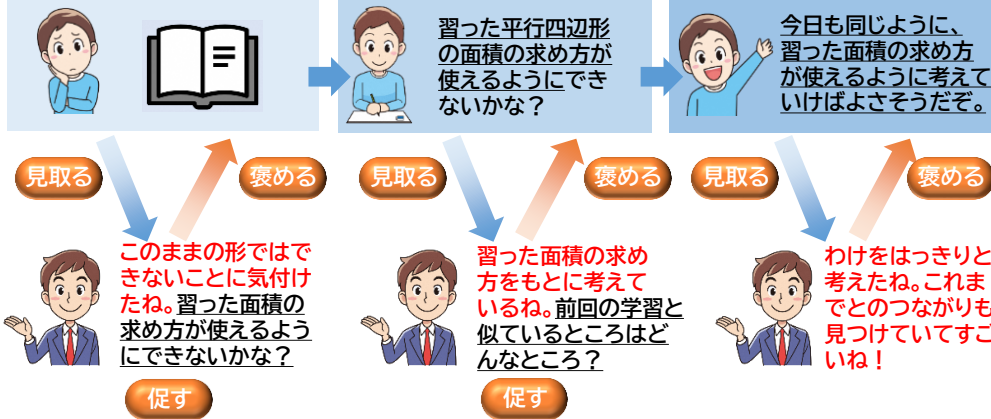
単元を通して意図的・計画的に指導し、資質・能力を育てていきましょう。

例：小学校 第4学年「面積」の学習

第1時(平行四辺形の面積)

第5時(三角形の面積)

第8時(台形の面積)



単元計画のPoint!

課題解決のための「習ったことで使えるようなこと」を単元計画で明確にすると、褒めるポイントが見えてきます。



1時間の学習過程の中で数学的な見方・考え方を働かせた学びを「見取り」「促し」「褒め」「共有」しましょう。

児童生徒が働かせて欲しい「**数学的な見方・考え方**」

褒めるPoint!

	着目したい「～しようとしている」子供の姿
数学的な見方	事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉える <ul style="list-style-type: none"> ・数・量・図形に着目している ・数・量・図形で表現している ・数量や図形の関係に着目している 等
	根拠を基に筋道を立てて考える <small>※中学校は論理的に考える</small> <ul style="list-style-type: none"> ・順序よく考えている ・根拠を明らかにしている ・図・式・言葉を関連付けて考えたり、表現したりしている 等
数学的な考え方	統合的に考える <ul style="list-style-type: none"> ・共通点や相違点を考えている ・課題に対する結論を考えている ・既習の知識及び技能と結び付けている 等
	発展的に考える <ul style="list-style-type: none"> ・適用範囲を広げている ・条件を変えて考えている ・新たな視点から考えている 等

見つけたよさを学級全体にも紹介し、「共有」しましょう。

